

志和町の西志和まちづくり自治協議会、地域づくり部会は、志和町西志和での「耕作放棄地等を利用したミツバチの里づくり」に取り組んでいます。

地域で日本ミツバチが生息しやすい環境づくりのため、4月から巣箱を作製し、地域内の10箇所に巣箱を設置しました。

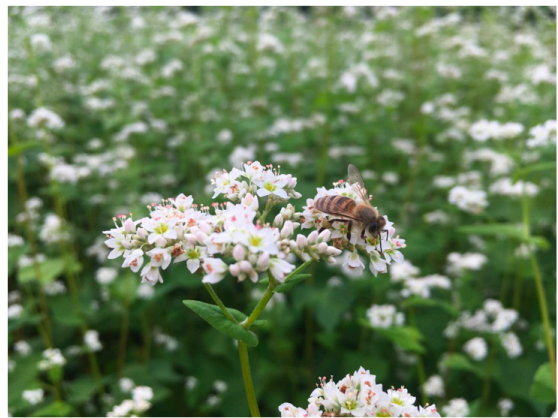


志和西に設置した巣箱に入居した群れを4月末に奥屋の緑豊かな場所に設置しました。群れは順調に成長し、最初2段で設置した巣箱は9月には7段を数えるまでになりました。





8月には、志和西や奥屋に蜜源植物である蕎麦を植えました。9月には可憐な花が咲き、ミツバチが訪花していることが確認できました。



4月に奥屋に設置した蜂群が順調に成長し、10月に採蜜会を開催することができました。





10月に採蜜会で採蜜した巣箱を教材の一つとして、志和小学校4年生の総合学習授業にて「養蜂と環境保全」をテーマとした授業をさせていただきました。生徒たちと学校近くに咲いている花に訪花するミツバチを観察する授業もさせていただきました。



### ★はちみつ体験改めハチの巣体験の様子★

10月17日(月)養蜂家の伊藤(駿田)かおりさんに来ていただき、ミツバチのことについて詳しく教えていただきました。

お家で蜂蜜の試食についての報告はありましたでしょうか？みんなが試食させてもらったのは「蜂蜜」というよりは「ハチの巣」でした！目の前でケーキを切り分けるかのようにミツバチの巣を切り分けでくださる伊藤さん。みんな1かけずつ…といわず、2km離れた巣との食べ比べを、2かけいただきました。蜂蜜の甘さと、はちの巣を構成している蜜蝋(みつろう)の食感はとても不思議で・・・。

「美味しい！」「・・・ガムみたい・・・」「はちみつ苦手でもー一口だけ。」「2つ目はちょっと酸っぱい感じ？」と様々な感想をつぶやいています。

自分たちでもたくさん調べてきたミツバチについての知識や、この日に教えてもらったこととともに、次はいよいよ実際にミツバチの様子を観察するために、探しに出かけます。さて、志和小学校の近くにミツバチはいるのでしょうか・・・。

